

(別表3-3)2002年度から2019年度における経年分析結果(水質)

物質調査番号	調査対象物質	水質				
		河川域	湖沼域	河口域	海域	
[1]	総 PCB	↓	↓	↓	↓	—
[2]	HCB	↓	↓	—	↓	┘
[11]	HCH 類					
	[11-1] αHCH	↓	↓	—	↓	↓
	[11-2] βHCH	↓	↓	↓	↓	↓
	[11-3] γHCH(別名:リンデン)	↓	↓	↓	↓	↓
	[11-4] δHCH	┘	↓	—	—*	—**
[14]	ポリブロモジフェニルエーテル類					
	[14-1]テトラブロモジフェニルエーテル類	↓	↓	—**	—*	↓
	[14-2]ペンタブロモジフェニルエーテル類	↓	↓	—**	↓	↓
	[14-3]ヘキサブロモジフェニルエーテル類	—**	↓	—**	↓	↓
	[14-4]ヘプタブロモジフェニルエーテル類	—**	↓	—**	↓	↓
	[14-5]オクタブロモジフェニルエーテル類	↓	—**	—**	—**	—**
	[14-6]ノナブロモジフェニルエーテル類	—*	—*	—**	—	—**
	[14-7]デカブロモジフェニルエーテル類	—*	—*	—**	—	—**
[15]	ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)	—	—	↓	—	—
[16]	ペルフルオロオクタン酸(PFOA)	↓	—	—	↓	—
[17]	ペンタクロロベンゼン	—	—	—	—	—

(注1)経年分析は、単回帰分析等の統計的手法を用いて実施した。

(注2)表中で用いた記号はそれぞれ次の内容を意味する(以下の表においても同様)。

- ↓ : 経年的な濃度の減少傾向が統計的に有意と判定されたもの
- ┘ : 調査期間の後期で得られた結果が前期と比べ低値であることが統計的に有意と判定され、濃度の減少傾向が示唆されたもの
- ↓ : 調査期間における低濃度地点数の増加傾向が統計的に有意と判定され、濃度の減少傾向が示唆されたもの
- : 経年的な濃度の減少傾向(又は増加傾向)が統計的に確認されないもの
- * : 調査期間の後期で得られた結果が前期と比べ低値(又は高値)であることが統計的に確認されないもの
- ** : 調査期間における低濃度地点数の増加傾向(又は減少傾向)が統計的に確認されないもの

(注3)ポリブロモジフェニルエーテル類、ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)は2009年度以降の調査結果に基づく経年分析の結果を、ペンタクロロベンゼンは2010年度以降の調査結果に基づく経年分析の結果をそれぞれ記載している。

(別表3-4) 2002 年度から 2019 年度における経年分析結果(底質)

物質 調査 番号	調査対象物質	底質				
		河川域	湖沼域	河口域	海域	
[1]	総 PCB	↓	↓	—	—	↓
[2]	HCB	↓	↓	—	—	—
[11]	HCH 類					
	[11-1] αHCH	↓	↓	—	—	—
	[11-2] βHCH	—	—	—	↓	—
	[11-3] γHCH(別名:リンデン)	↓	↓	—	—	—
	[11-4] δHCH	↓	—	—	↓	—
[14]	ポリブロモジフェニルエーテル類					
	[14-1]テトラブロモジフェニルエーテル類	—*	↓	—	—*	—
	[14-2]ペンタブロモジフェニルエーテル類	—*	↓	—	—	—
	[14-3]ヘキサブロモジフェニルエーテル類	—*	↓	—	—	—
	[14-4]ヘプタブロモジフェニルエーテル類	—*	↓	—*	—	—*
	[14-5]オクタブロモジフェニルエーテル類	—*	↓	—	—	—
	[14-6]ノナブロモジフェニルエーテル類	—	—*	—	—	—
	[14-7]デカブロモジフェニルエーテル類	—	—	—	—	—
[15]	ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)	↓	—	—	↓	↓
[16]	ペルフルオロオクタン酸 (PFOA)	—	—	—	↓	—
[17]	ペンタクロロベンゼン	—	—	—	—	—

(注)ポリブロモジフェニルエーテル類、ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)は 2009 年度以降の調査結果に基づく経年分析の結果を、ペンタクロロベンゼンは 2010 年度以降の調査結果に基づく経年分析の結果をそれぞれ記載している。

(別表3-5)2002 年度から 2019 年度における経年分析結果(生物及び大気)

物質 調査 番号	調査対象物質	生物		大気
		貝類	魚類	温暖期
[1]	総 PCB	↓	—	↓
[2]	HCB	—	—	—
[11]	HCH 類			
	[11-1] αHCH	↓	↓	↓
	[11-2] βHCH	—	↓	↓
	[11-3] γHCH(別名:リンデン)	↓	┘	↓
	[11-4] δHCH	— **	— **	— (注4)
[14]	ポリブロモジフェニルエーテル類			
	[14-1]テトラブロモジフェニルエーテル類	↓	—	↓
	[14-2]ペンタブロモジフェニルエーテル類	—	↓	↓
	[14-3]ヘキサブロモジフェニルエーテル類	— **	—	↓
	[14-4]ヘプタブロモジフェニルエーテル類	— **	— **	↓
	[14-5]オクタブロモジフェニルエーテル類	— **	— **	↓
	[14-6]ノナブロモジフェニルエーテル類	— **	↓	↓
	[14-7]デカブロモジフェニルエーテル類	— **	↓	↓
[15]	ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)	— **	—	↓
[16]	ペルフルオロオクタン酸(PFOA)	— **	↓	—
[17]	ペンタクロロベンゼン	— **	— *	—
[19]	1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン類			
	[19-1] α1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	↓	↓	
	[19-2] β1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	↓	↓	
	[19-3] γ1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	↓	— *	

(注1) 鳥類の 2013 年度以降における結果は、調査地点及び調査対象生物を変更したことから、2012 年度までの結果と継続性がないため統計的な分析の対象外とした。

(注2) 生物のうち、ポリブロモジフェニルエーテル類は 2008 年度以降の調査結果に基づく経年分析の結果を、ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)は 2009 年度以降の調査結果に基づく経年分析の結果を、ペンタクロロベンゼンは 2010 年度以降の調査結果に基づく経年分析の結果を、1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン類は 2011 年度以降の調査結果に基づく経年分析の結果をそれぞれ記載している。

(注3) 大気のうち、ポリブロモジフェニルエーテル類は 2009 年度以降の調査結果に基づく経年分析の結果を、ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)、ペルフルオロオクタン酸(PFOA)及びは 2010 年度以降の調査結果に基づく経年分析の結果を、ペンタクロロベンゼンは 2007 年度以降の調査結果に基づく経年分析の結果をそれぞれ記載している。

(注4) 前回の試料採取時と比べて気温が大きく下がっている点を除外して解析した。

(注5) ■は調査を実施した回数が少ないことから経年変化の解析を行っていないことを意味する。